



Android & Google Play

デジタル市場競争本部ヒアリング用ご説明資料



2021年12月10日

アジェンダ

1. Googleがどのように日本経済及びイノベーションに貢献しているか
2. Android: 安全、無料でオープンなOS
3. Google Play: Googleの非独占的なアプリストア

Googleがどのように日本経済及び
イノベーションに貢献しているか

Googleがどのように日本経済及びイノベーションに貢献しているか

- Googleは、日本のデジタルトランスフォーメーションのパートナーであり、日本のイノベーションを支援するための技術とインフラストラクチャーに投資しています。

Googleは、日本の企業に年間 **3.2兆円** (301億米ドル)、ユーザーに年間 **4.4兆円** (407億米ドル) の経済利益をもたらしています ([AlphaBeta, 2021](#))。

Googleは、日本の経済安全保障を向上させる [サイバーセキュリティ](#) へ投資しています。

Googleのプログラムにより、2022年までに日本で **1000万人** が [デジタルスキルトレーニング](#) の恩恵を受けることとなります。

- 2008年以来、Google Playにより、デベロッパーのアプリ市場への参入機会を拡げてきました。

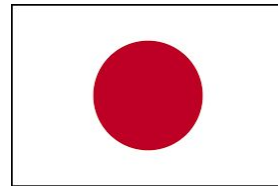
当初の32カ国から、現在では **190カ国以上** へアクセス可能

アクティブユーザーは当初の数百万人のから、現在では **20億人以上** へ

- 日本の様々な関係者に **利益** をもたらしてきました。

コスト削減: デベロッパーは単一のOSのみに向けて開発すれば済み、端末メーカーはAndroidに無料でアクセスでき、ユーザーはより高品質かつ安全な製品をより低価格で入手できます

日本のサービスプロバイダーを含むモバイルネットワークオペレーターの **スマートモバイルデバイスのユーザーベースが拡大しました**



Android: 安全、無料でオープンなオペレーティングシステム(OS)

全てを変えたAndroid

- Androidが登場する以前、スマートフォン市場は、**閉鎖的な独自OS**によって占められており、そもそもライセンスをしていないか、ライセンスをすることがあっても厳格な管理の下でしかライセンスしていませんでした。

プラットフォームの断片化(フラグメンテーション)

キャリアによる囲い込み(ウォールガーデン)

独自OSであることによるボトルネック

モバイルエコシステムをより開放的にし、世界中の誰もがアクセスできるようにするために、Googleは、Androidを開発しました。

Androidは、多くの関係者に利益をもたらします

ユーザー

- 安全で手頃な価格の端末
 - 毎日1000億件のアプリと30億台のデバイスが動作していますが、有害アプリの99.9%を防止します。
- 複数のアプリへのアクセス
- 様々な端末をまたいでのお気に入りアプリへのアクセス
- グローバルなユーザー基盤
- 配信コストの削減
- 自由にカスタマイズ可能なOS
- より安く端末を製造することが可能に
- アプリの配信を容易に
- アプリの一つのバージョンで全ての端末をカバー(動作可能)
- より幅広いユーザー基盤

アプリストア

OEM

デベロッパー

MNO

Androidの開放性は多くの機会を生み出してきました

1,300ブランド以上

がAndroidを使用する携帯を製造

24,000種類以上

のAndroidを使用する端末モデル

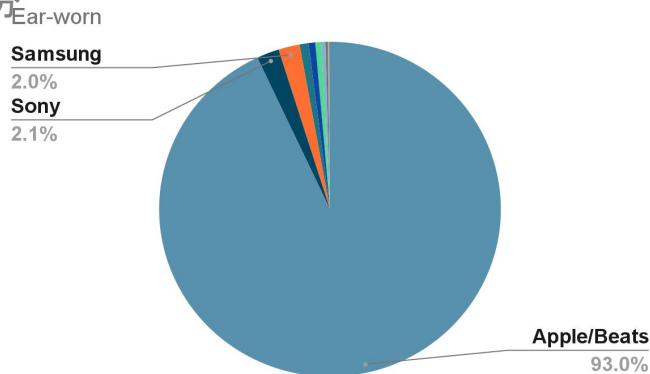
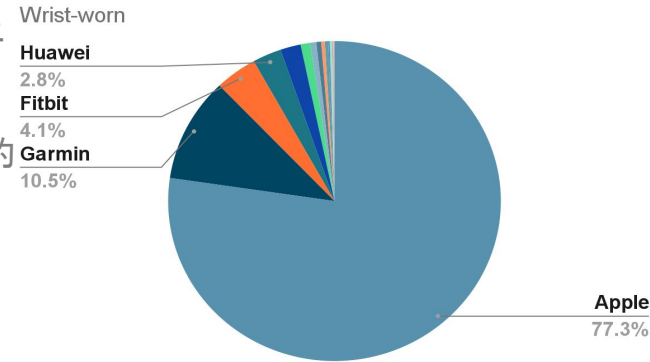
30億台以上

のAndroidを使用するアクティブな端末

ウェアラブル市場: Googleは、柔軟性を提供します

- Fitbit (現在はGoogle傘下) は、2013年に日本に進出しました。日本で入手可能なGoogleブランドのウェアラブルはこれ以外ではPixel Budのみで、2020年の売り上げは約220万米ドルでした。
- 手首装着型ウェアラブル向けのGoogleのオペレーティングシステムであるWear OSの日本での市場シェアは小さいです。(2020年のWear OSデバイスの売上は約1,600万米ドルで、大半はカシオ及びFossilが製造したものです。)
- Androidは、非常に競争の激しいエコシステムの中で運営されています。
 - iOS以外の領域には、国内、海外を含め、多くの競争事業者が存在しています。
- **Androidのウェアラブルは柔軟性を向上させます。**：サードパーティの時計メーカーは、同じAndroid APIにアクセスすることができるので、ユーザーはスムーズに自分のウェアラブルを取り替えることができます。

日本における売上 (2020年)



Source: International Data Corporation (IDC) reports

ボイスアシスタント市場: Googleは、選択肢と柔軟性を提供します

- 日本では未だ**発展途上のマーケット**であり、日常的に使用しているのは、ほんの少数のパイオニア – 「ファーストアダプター」に限られています。
- Googleは、**有力な地位を築いていたライバルたちに遅れて**、2017年にGoogleアシスタントを日本に登場させました。
- **Googleは選択肢を提供します。:**
 - ユーザーは、容易にデジタルアシスタントを変更することができます。
 - サードパーティのアシスタントアプリの開発者も、同じAndroid APIにアクセスすることができます。



Google Play: Googleの非独占的アプリストア

デベロッパーは多くの配信チャンネルから選択可能です

- Androidは、デベロッパーの**選択肢を増やし**ており、デベロッパーは以下のようなチャンネルを通じてアプリを配信することができます。
 - **アプリストア**: Google Playの他、Samsung Galaxy Store、Amazonアプリストア、アップパス、Bemobi Mobile Store、F-Droid及びYandex.Storeを含む約100個のAndroidアプリストア
 - **サイドローディング**: ユーザーは、デベロッパーのウェブサイトからアプリを直接ダウンロードすることができます。
 - **プリインストール**: OEMとデバイスにプリロードされるアプリについて合意することができます。
- OEMとMNOは、**どのアプリ又はストアをプリロードするかを自由に選択**することができます。
- 他のOSでは、もっぱら専用ストアを通じてアプリを配信する必要があります。

Google Playのツールはすべてのデベロッパーに提供されています



世界中でのホスティング
及び配信

開発及びサポート

ユーザーによる発見

支払い

コンプライアンス

Google Playの課金システムはエコシステムに不可欠です

- Google Play は、190カ国の20億台のAndroidデバイスに及ぶグローバルな市場へのアクセスを提供します。
- 有料のアプリ又はデジタル商品やコンテンツのアプリ内購入を提供する場合は、デベロッパーはGoogle Playの課金システムを利用します。
- Google Playの課金システムは、Google Playの**一部**です。
 - 支払いには、**クレジットカード、モバイルキャリア決済、デジタルウォレット、ギフトカード**を含む、地域に応じた200種類以上の決済方法が利用できます。(すべての決済方法のリストは[オンライン](#)で確認できます。)
- Google Playの課金システムの利用は、Google Playのすべての関係者の**利益になります**。
 - 安全で確実な決済方法を提供します。
 - ユーザーの信頼が得られることで購入を促進し、デベロッパーの利益につながります。
 - サービス手数料は、GoogleによるAndroid及びGoogle Playエコシステム(デベロッパーに提供されるツールのサポートを含みます。)への投資を可能にしています。



Google Playのサービス手数料は、エコシステムを支えています

- Google Playを利用しているデベロッパーの約97%は、**無料でダウンロードできるアプリ**を提供しています。
 - これらデベロッパーは、サービス手数料を支払わずにGoogle Playのすべての恩恵やサービスを享受しています。
- 残りの3%のデベロッパーは、アプリやデジタルコンテンツのアプリ内購入を有料で提供することを選択しています。
 - これらデベロッパーは、Google Playの課金システムを利用し、**サービス手数料**を支払うことが求められます。
 - Google Playが提供するプログラムのおかげで、デベロッパーの99%は**15%以下のサービス手数料**の適用を受けることができます。(Googleの最近の[ブログ](#)「デベロッパーのニーズに合わせてビジネスモデルを進化させます」をご参照ください。)
- サービス手数料は、**Google Playのエコシステム**が成功するために不可欠です。
 - サービス手数料は、単なる決済処理の手数料ではありません。サービス手数料によって、デベロッパーがアプリを開発し、そのアプリをユーザーに発見してもらうことを支援するツールやサービスの全体をGoogleが提供することが可能になっています。

デベロッパーの声

“今回の Google Play のアップデートは、我々 BOOK☆WALKER にとってはもちろんのこと、電子書籍業界全体、そして出版業界にとって、ビジネスを更に大きく成長させるために意義あるものと捉えております。長らく直面していた決済周りの様々な課題を解決するものと信じており、今後も Android のアプリを通じて、より良いユーザー体験を提供していきたいと考えています” - 株式会社KADOKAWA 執行役員 Chief Digital Officer 株式会社ブックウォーカー 代表取締役社長 橋場 一郎 氏

“Google Play はローンチ当初より AWA をパートナーとして扱い、成長を継続的にサポートしてくださってます。今回のアップデートは、音楽業界が直面する課題を親身に考えてくださり、今後の成長のためにプラットフォームとしてできることをアクションに移してくださった新たな一例です。今回の変更を足がかりに、AWA は今後も時代に沿った新たな音楽体験とクリエイターの創造サイクルを作るために、これまで以上に良いユーザー体験を Play にて届けていきたいと思えます” - AWA株式会社 代表取締役 CEO 富樫 晃己 氏

「Google とのパートナーシップは、私たちのビジネスにとって強力なものであり、私たちが規模を拡大することを支援することにより、最終的に、世界中の女性に力を与えるという私たちの使命を推進する上で重要な役割を果たしてくれています。Google が発表した価格変更は、私たちが自身の製品に対しより良い投資を行うことを可能にするとともに、自信を持ってオンラインでつながる力をユーザーに与えます」 - Whitney Wolfe Herd, Founder and CEO, Bumble Inc.

ご清聴ありがとうございました。
Q & A セッション